

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	社会福祉法人 別福会	代表者	北地 輝昭	法人・事業所の 特徴	機械的ではない人間らしい温もりのある寄り添うケアを実践し、家庭的な環境の中で利用者様と馴染みの職員が家族のように過ごしています。
事業所名	福祉の森 火売事業所(サテライト)	管理者	中島 八重子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	4人	0人	1人	1人	0人	3人	0人	11人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認			今回が初めてということで不明な点が多かった。継続することにより理解が深まっていくと思う。職員皆が真剣に取り組んでいただけている。	次回も全員が参加できるよう早い段階で伝達する。
B. 事業所のしつらえ・環境			事業所の環境は良い。バス停等無いので交通機関を利用しにくい。場所が分かりにくい。	現在の環境を今後も継続する。
C. 事業所と地域のかかわり			地域という言葉の定義が分れるが隅々までは認知されていない。文化祭や盆踊り等積極的に参加しているため認知度は上がっている。	今後も地域の行事に積極的に参加する。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み			利用者様と散歩しているのをよく見かける。ご近所に声かけが出来ている。地域の方を交えた会議が出来ていない。	運営推進会議の活用、民生委員の方の協力により地域の方を交えた会議等に参加する。
E. 運営推進会議を活かした取組み			運営推進会議での事例検討が行われていない。	運営推進委員の方々の役割を決めることと小規模多機能型居宅介護事業所について理解を深める。
F. 事業所の防災・災害対策			計画自体はあるが集まって欲しい時になかなか集まらない。	防災訓練を運営推進会議翌月に設定し運営推進会議を利用し地域の方々へ早い段階でお知らせする。